

# 目 的

---

当健診センター最近2年間の  
がん健診結果を集約し、  
PET総合がん健診の特異度を検証する。

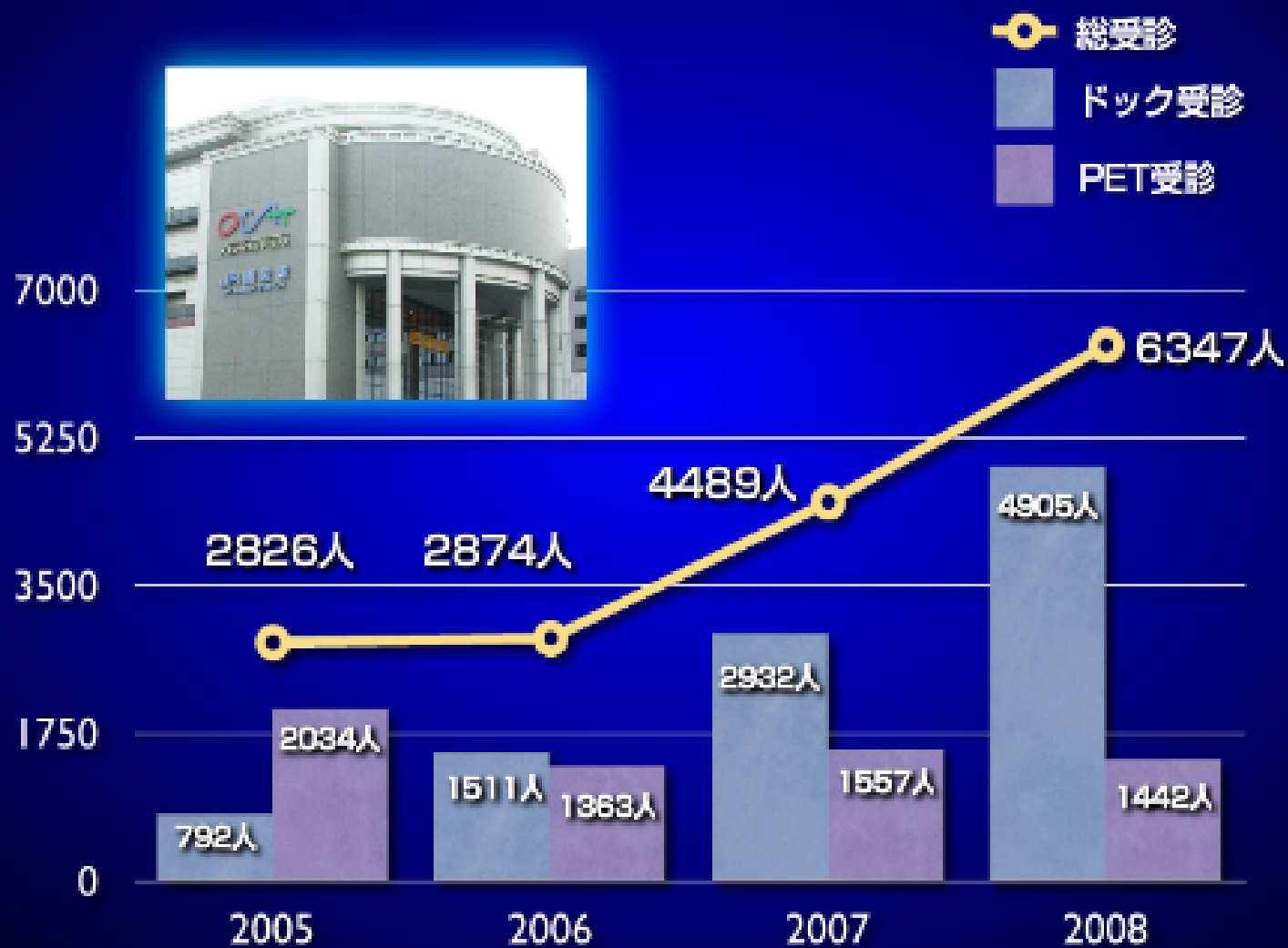
# 対 象

---

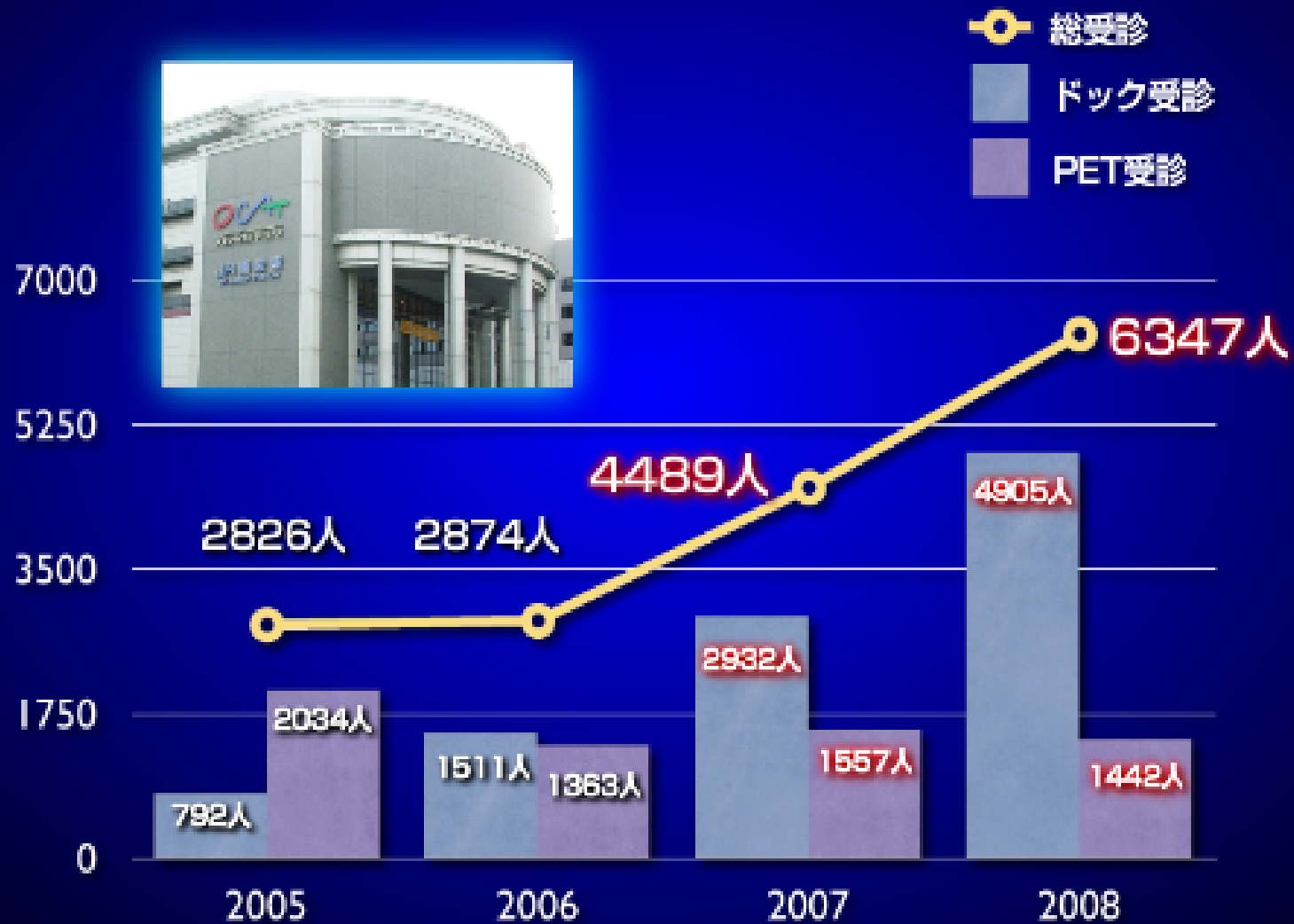
2007年4月～2009年3月

- ・ PET総合がん健診受診者（PET健診）
- ・ 人間ドック受診者（ドック受診）

# 健診受診者数



# 健診受診者数



# 検査方法

---

PET

胸部X線

MRI (頭・骨盤)

食道・胃X線

CT (胸・腹)

マンモグラフィー

エコー (頸・腹・乳腺)

便潜血 (2日法)

胃・大腸内視鏡

腫瘍マーカー

# 検査方法 (PET)

---

PET

胸部X線

MRI (頭・骨盤)

食道・胃X線

CT (胸・腹)

マンモグラフィー

エコー (頸・腹・乳腺)

便潜血 (2日法)

胃・大腸内視鏡

腫瘍マーカー

# 検査方法 (人間ドック)

---

PET

MRI (頭・骨盤)

CT (胸・腹)

エコー (頸・腹・乳腺)

胃・大腸内視鏡

胸部X線

食道・胃X線

マンモグラフィー

便潜血 (2日法)

腫瘍マーカー

## 検査方法 (オプション)

---

PET

胸部X線

MRI (頭・骨盤)

食道・胃X線

CT (胸・腹)

マンモグラフィー

エコー (頸・腹・乳腺)

便潜血 (2日法)

胃・大腸内視鏡

腫瘍マーカー

# 調査方法

---

- ・ 紹介施設からの返書
- ・ 紹介施設へのアンケート（医療連携）
- ・ 受診者への電話聞き取り・アンケート

各種がん取扱い規約の病期分類に従った

# 受診者背景

	がん家族歴		がん既往歴	
	あり	なし	あり	なし
PET受診	63%*	37%	8%*	92%
ドック受診	53%	47%	4%	96%

\* p<0.01

# 受診者背景

	がん家族歴		がん既往歴	
	あり	なし	あり	なし
PET受診	63%*	37%	8%*	92%
ドック受診	53%	47%	4%	96%

\* p<0.01

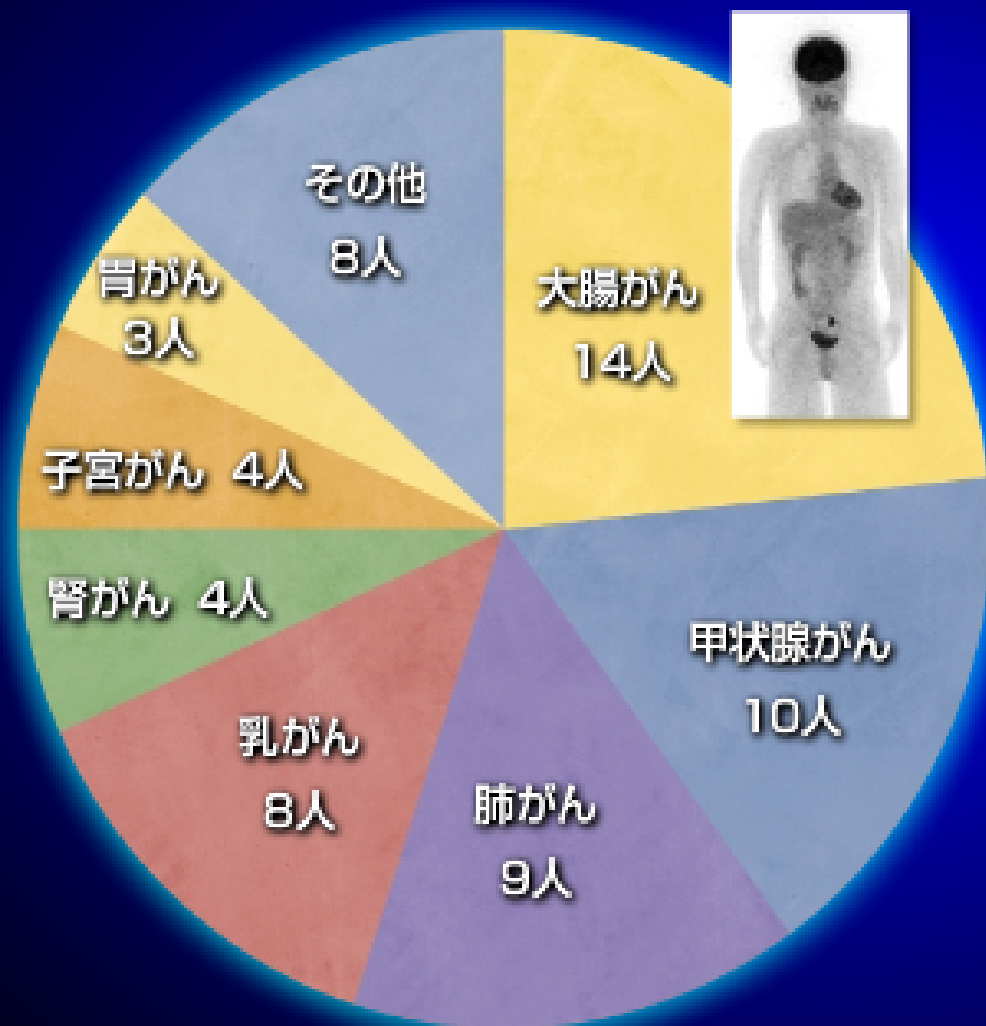
# がん発見率

	2007年	2008年
総受診	28 /4489人 (0.6%)	32 /6347人 (0.5%)
PET受診	21 /1557人 (1.3%)	16 /1442人 (1.1%)
ドック受診	7 /2932人 (0.24%)	16 /4905人 (0.3%)

# がん発見率

	2007年	2008年
総受診	28 /4489人 (0.6%)	32 /6347人 (0.5%)
PET受診	21 /1557人 (1.3%)	16 /1442人 (1.1%)
ドック受診	7 /2932人 (0.24%)	16 /4905人 (0.3%)

# がん臓器別人数 (2年間 60人)

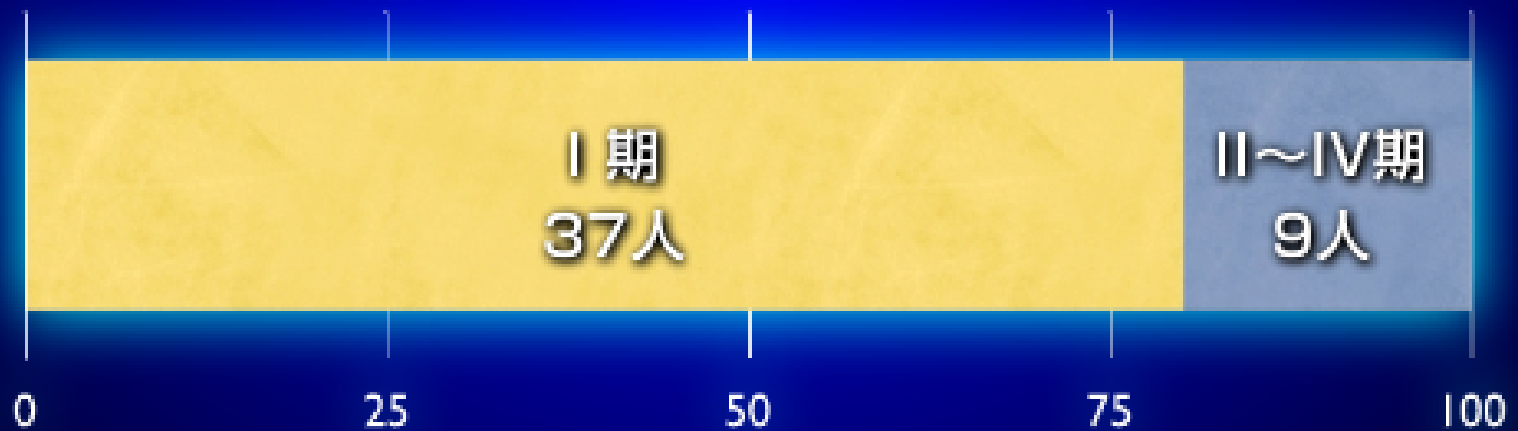


大腸がん	14人
甲状腺がん	10人
肺がん	9人
乳がん	8人
腎がん	4人
子宮がん	4人
胃がん	3人
その他	8人

# 病期分類

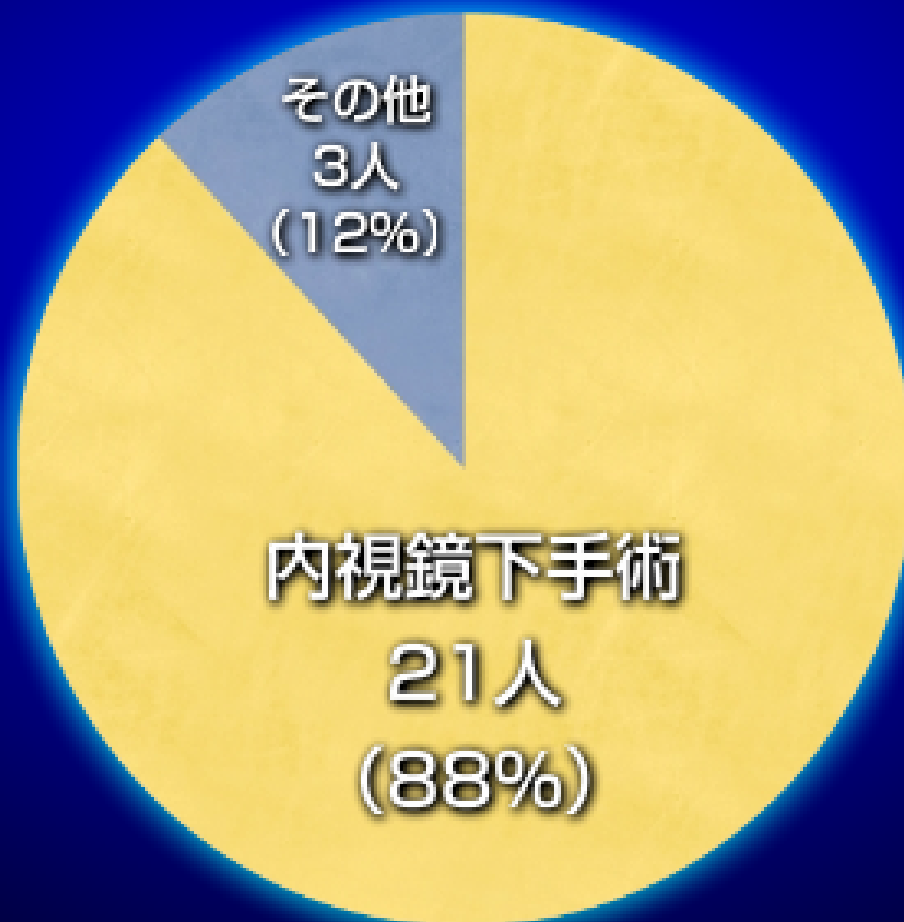
I 期： 37人 /46人 (80%)

II~IV期： 9人 /46人 (20%)



# 内視鏡下手術施行の割合

肺・縦隔・胃・大腸・腎・子宮などの体腔臓器（24人中）



# まとめ

---

- ・ 当健診センターのがん発見率は0.55%で  
ドック受診者では0.27%、PET受診者では1.2%であった。
- ・ 臓器別では大腸がんが最も多く、甲状腺がん、肺がんの順に多かった。
- ・ 病期Ⅰ期が80%と多く、  
体腔臓器への内視鏡下手術施行例は88%と高率であった。